



学校だより

第3号

令和4年3月10日発行

神奈川県立えびな支援学校

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。月日の経つのは早いもので、今年も別れと出会いの季節がやってきました。在校生も卒業生もそれぞれが新しいステージへと進んでいきます。新型コロナウイルスの影響により、今年度も学習活動の制限を余儀なくされた年となりました。そんな中、保護者の皆様や地域の皆様のご理解をいただきながら、えびな支援学校では、出来る限りの学習活動を進めてまいりました。このような状況の大きな好転はすぐには難しいと思います。新しい環境に加え、感染症の不安や緊張もあると思いますが、皆さんがWithコロナ時代を自分らしく生きていけるようになることを願っています。1年間ありがとうございました。

B 高等部長 高橋

A部門



美術で、アクリル絵の具を使って布染めを行いました。四隅に紐をつけたプラスチック段ボールの上に、色とりどりの絵の具をたらした後、みんなで紐を上下させて絵の具を動かしました。「もっと上げて!」「もっと低く!」など掛け声が飛び交う中、それぞれが高く腕を

上げたり、細かく揺らしたりして模様を作りました。みんなの頑張りで思いもよらない模様ができ、布に転写すると、なんとも味わい深い芸術的な作品に仕上がりました!また、絵の具にはミントオイルも加えられ、部屋中がすっきりした匂いに包まれて、香りも楽しむことができました。



この布は卒業アルバムのカバー等の作品になる予定です。お楽しみに!

B部門高等部



3年生は12月に1泊2日の修学旅行。静岡へ行ってきました。天気にも恵まれ、一日目は日本平動物園へ。レッサーパンダやホッキョクグマなど、動物たちの息づかいを間近で感じ、みんな驚いた様子。宿泊先の伊豆長岡温泉では、檜風呂の温泉やマンガ図書館など、思い思いに楽しみました。二日目はまず三津シーパラダイスへ。



沼津港ではおみやげもたくさん買い、干物の香りにお腹がグー…。お昼は金目鯛の釜飯を平らげて、シメはみかん狩り。澄んだ青空に富士山が映え、生き物、自然、食…と、大いに静岡を堪能した二日間でした。

高校生活の大半を感染対策とともに過ごしてきた35名。これからも健康に気をつけて、自分の人生を歩んでください。担任一同、みなさんの幸せを祈っています。



B部門中学部



12月の修学旅行は、日帰で横須賀の猿島に行ってきました。横須賀からフェリーに乗って10分。自然豊かな無人島の猿島に到着しました。たくさんの事前学習を行ってきたこともあり、生徒も教員もドキドキわくわくでいっぱいでした。朝まで大雨でしたが、横須賀についた時には奇跡のように晴れました。きれいな景色や少し不気味な雰囲気の建物を見つめる表情は、普段とは格段に違いました。

2月、3月のわずかな間に「中学部最後の・・・」と言われる授業が次々とおこなわれている中、それら一つひとつに対して一生懸命取り組む生徒たちの姿に3年間の成長を感じています。

4月からは高校生。思い出と希望を胸に。さらなる成長に担任一同期待しています。



B部門小学部



今年度B小学部4・5年生の14名の児童は、毎日様々な学習に意欲的に取り組んでいます。体づくりではヨガに挑戦し、心地よい音楽を聴きながら、身体全身を伸ばしたり、リラックスしたりして、1日気持ちよく学習を始めるための準備となっています。またせいかつでは、「防災学習」に取り組みました。「ダンゴムシ」を合言葉に机の下で屈む姿勢を取ったり、悪路・煙が発生した時にも屈んだ姿勢になって移動したりすることを学習しました。12月には厚木市の防災センターへ行き、更に体験的な学習を行いました。震度7の揺れや、暴風体験では身体を支えることがやっとでした。学校での防災訓練の時には、緊急地震速報の音が流れると机の下で屈む姿勢を取ることができる児童が増えました。

少しずつ日差しの暖かさを感じられるようになってきました。学年末のまとめの時期、最後まで元気に、楽しく過ごしたいと思います！



地域連携係からのお知らせ



昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症対策により、学校施設開放、ふれあいサロン、ひだまりサロンは残念ながら実施できませんでした。学習ボランティアさんにおきましては、5月～1月、見守りボランティアさんにおきましては、年間を通してボランティア活動をしていただきました。このような状況の中でも、本校の教育活動にご協力いただいたことに感謝申し上げます。